

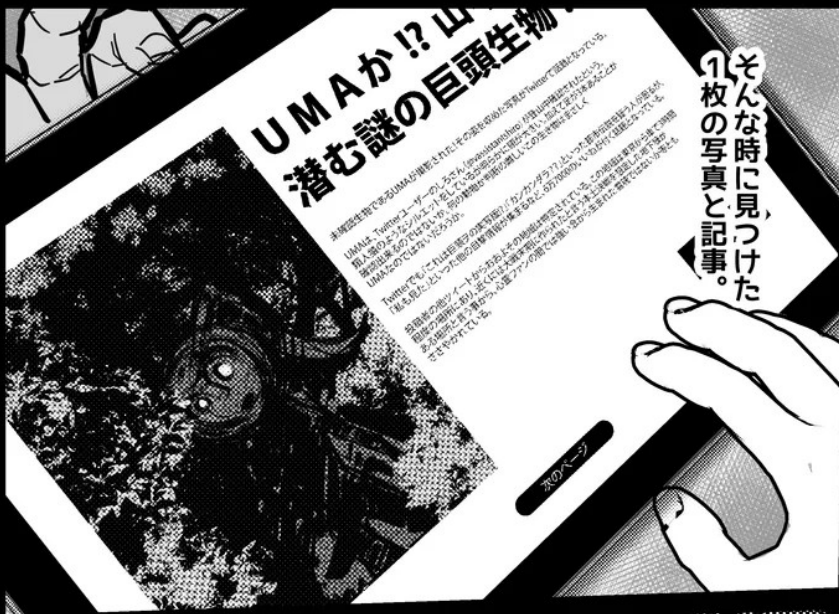
 みるく
絵日記

あ



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

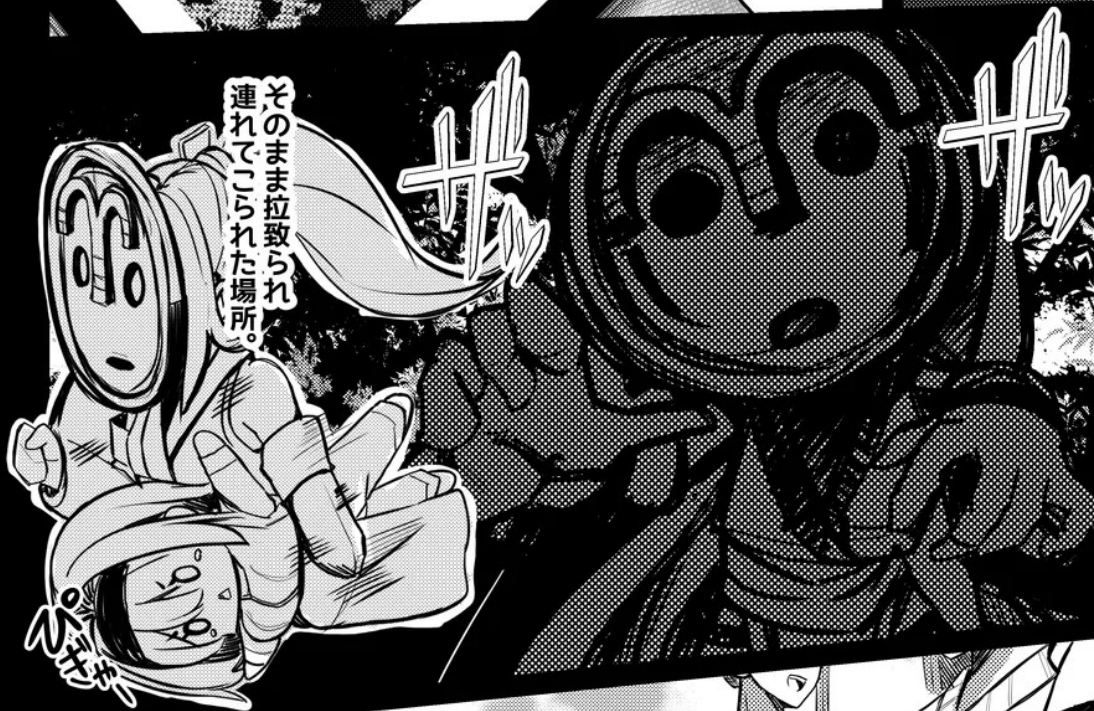


そんな時に見つけた
1枚の写真と記事。



とあるコンプレックスもあり
他人と関わるのが苦手な私は。

あまり外にも出ず。
いつも家で一人で
過ごしていました。



都市伝説などが好きな私は
人にも合わないそうだし、
外出の良いきっかけと思いその場所
に行ったら、例のUMAに遭遇。

そのまま拉致られ
連れてこられた場所。



そこは所謂「ふたなり」の
女の子だけが住む、深い山の中の小さな村でした。

テレビも無い。スマホもない。車もそれほど...
そんな外界から隔絶された場所で

現在私は。。。。

偉い人の
お世話をしています。

みるくー！

みるくー

あわわ

はい

おはよう
お姫ちゃん

遅い！



それと、私の事は
姫巫女さまと呼べと
言っておろうが。

…まあ良い。
それより！

はいお姫ちゃん。



それでは

これより仕来りに基づき、
捧げの儀を執り行います。



早く朝の
勤めを始めぬか。



待ちくたびれたぞ

ごめんっ！！

神様にいっっぱい
捧げものしようねえ♡

わあー、今日も
元気いっぱいだね♡

ばんばん
お姫ちゃん

おはよう♡

ちゃんと待て出来て
偉かったねえ♡

子ども扱いをするな。
我慢くらい出来る。

強がり
かーわい♡



お姫ちゃんの好きなところも結構分かってきたんだよ？

すりっ
すりっ

こうやってカリ首をきゅって挟んで

一番ぶくっしてるとか早めにされたりとか

裏筋くにくにとか

お姫ちゃん
ぴくぴくーってするの嬉しい

射精したくて
ぴくぴくしてるの可愛い♡

毎日お世話したら覚えてきちゃった♡

トロ...

びん
びん



はい♡

あまり焦らすな。
もう、射精させろ…



今日は上手に
入れられるかな？



ぴゅ、ぴゅー♡

どうぞー♡



これでよし！

コトッ

神様にお姫ちゃん汁を
お供えして

朝のお勤め完了です♪

おはよう。みるく。

毎朝大変だな。

いえ、楽しくお勤め
させてもらってます！

もう、一月が経つか…





静香さん。
ちよちよと待ってくださいー



なんだ？もうばてたのか

まだ歩き始めたばかり
じゃないか。



静香さんもお疲れみたいですし。

ちよと休憩しましょうよ



静香さん凄いですね。
私なんてもう足パンパンですよ。



はっ

はっ

べ、別にこれは、
疲れている訳では……っん。

みるく知ってますよ？

疲れて危機を感じると
子孫を残そうとしておちんちんさんは
勃起するんですね

それとも、みるくで興奮……

してくれましたかあ？



すごい反発。
お姫ちゃんの素直な
ちんちんと全然違う。

ちゃんと包んでないと
おっぱいから跳ね出ちゃいそう。

おちんちんの個性が

おっぱいを通して

伝わってる。

おっぱい



いっぱいでしたねえ♥

ゴッ
とろあ...

...

ほえ?

ひゃん!

忘れてた!!

あ

静香さん。普段性欲を
抑えてる分。

うわっ
うわっ
うわっ

んっ

スイッチ入っちゃうと...

だっ
だっ
だっ

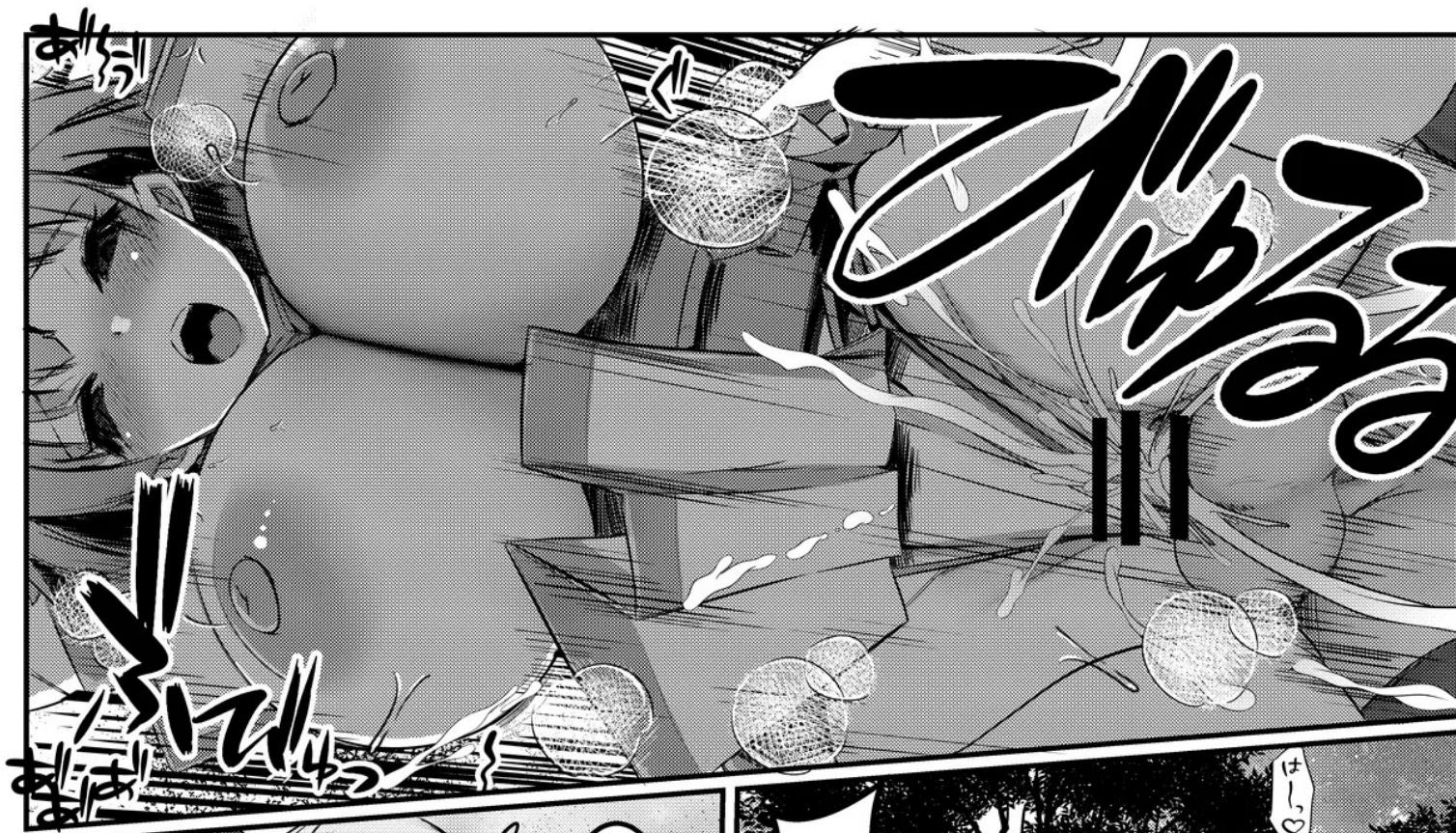
うわっ
うわっ
うわっ

あ
ちゅ
ぽん
ぽん
ぽん

止まらないんだった!!



いいですよ♡
タマタマ空っぽになるくらい
みるくに注いでください。



ここが、奥社ですか。

奥宮って言うのとは
何が違うんですか？

〇〇神宮と名前が付いている所は
奥宮。〇〇神社とついている所は奥社だな。
系統の違いなだけだ。

ほえ。
そうなんですなえ(*、ε、*)

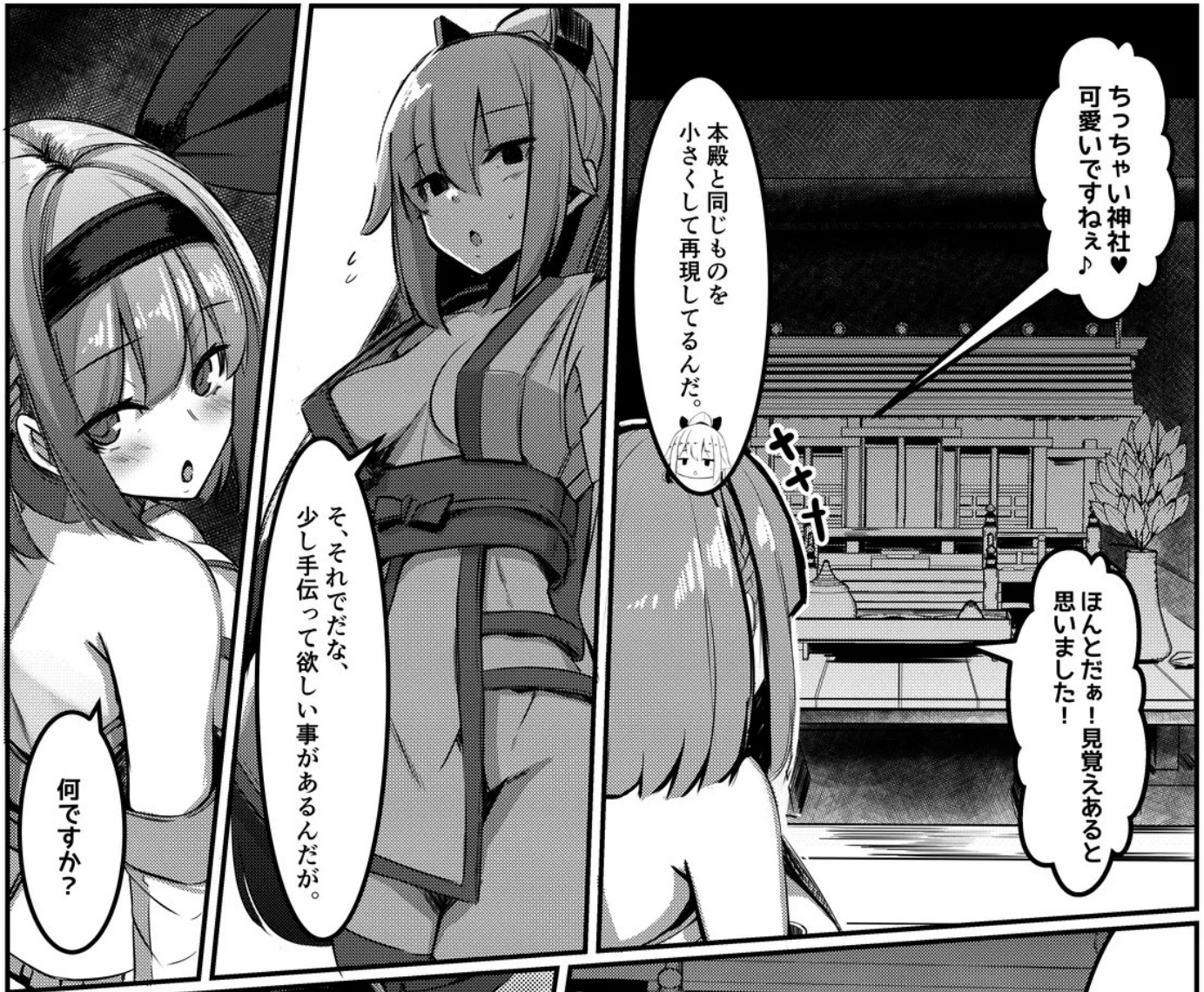
その昔、姫巫女 of 先祖が山の神に
導かれてこの土地を発見した場所と
されている。

神より授かりた子を抱え
山を歩き、ここにたどり着いた。

今でも時折山の神が村の様子を
見るために訪れると言う。

だから月に一度、
こちらにもお供え物を
するんだ。

激レアですね!!
何があるんですか？



ちっちゃい神社♡
可愛いですねえ♪

本殿と同じものを
小さくして再現してるんだ。

ほんとだあ！見覚えあると
思いました！

そ、それでだな、
少し手伝って欲しい事があるんだが。

何ですか？



本殿のご神体と同じように、
ここにも姫巫女様の
捧げものを奉納するのだが

もう一つ、
蜜壺と言うものがあってだな。

みるく！頑張ります！



繁栄の意を込めて、この中に
女性の蜜を注ぐんだ。

だから、その…。

分かりました！



はぁ

みるく、お汁
ちゃんと注げてますか？

どうですか？

とろあ...

はぁ

はぁ

ああ、ちゃんとできているぞ。

ちゅ
ちゅ

はぁ

これはえっちな事じゃ
無いって思っても、
オナニー見られてるみたいで
ドキドキして、お汁溢れてくる。

あっ

はぁっ

静香さん勃起してる。
さっきあんなに射精したのに。

はぁっ

はぁっ

はぁっ



ダメなのに



これは儀式これは儀式

気持ちよくなっちゃダメ

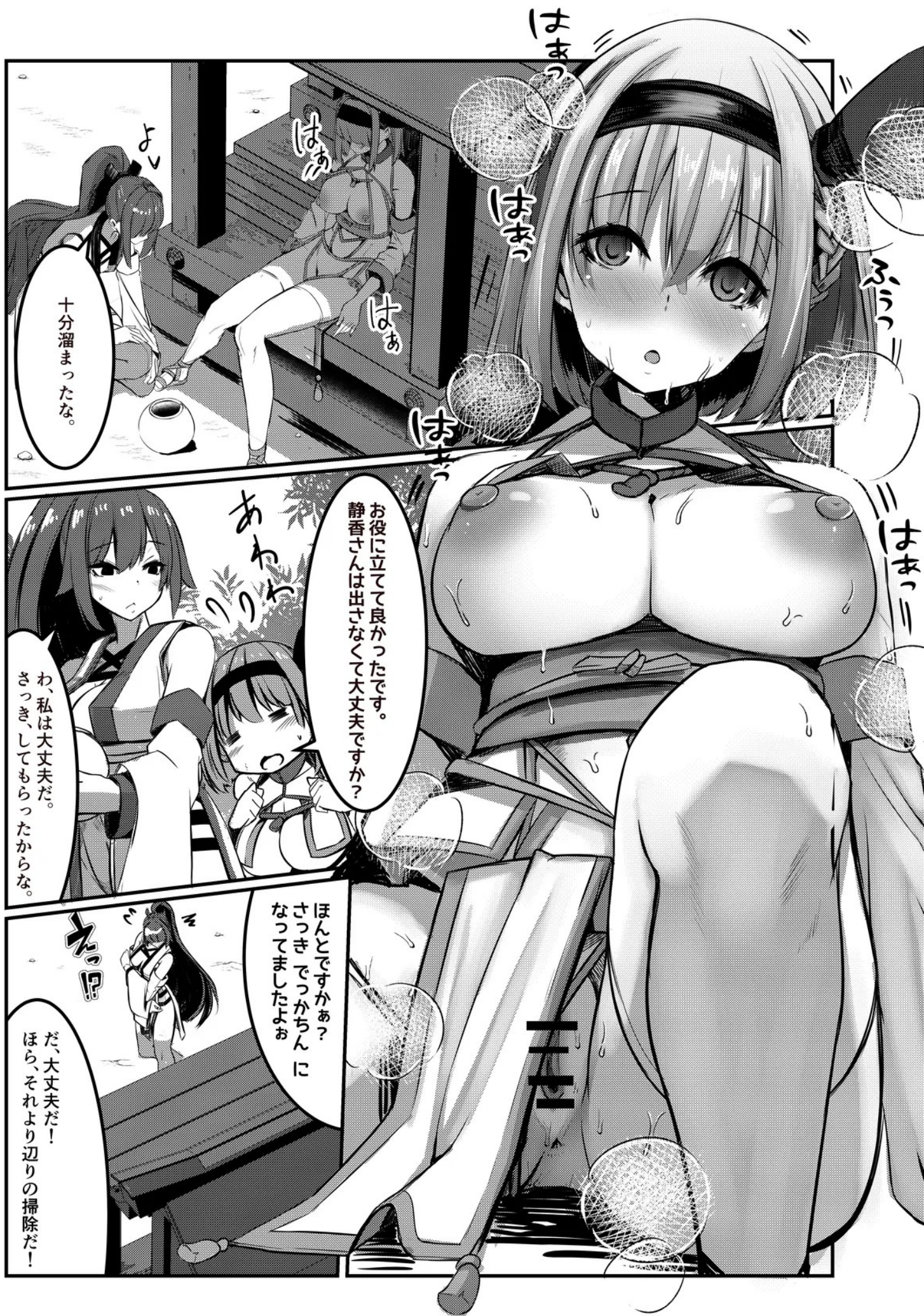


でもエッチモードにならないように我慢してるんだ。

みるくも頑張らないと！



ツツクウツ！



十分溜まったな。

お役に立てて良かったです。
静香さんは出さなくて大丈夫ですか？

わ、私は大丈夫だ。
さっき、してもらったからな。

ほんとですかあ？
さっきでっかちん
なっていましたよ

だ、大丈夫だ！
ほら、それより辺りの掃除だ！





偉い！

みるく。
今日も頑張りました！



一緒にしても良いか？



あの…静香さん。

朝も少しお話ししましたが、
連れて来てくれてありがとうございました。



あはい！

みるく、ちよつとよく分かんなくなつちやつて。

この身体のせいもあつて昔から目立つのが苦手で、そんな事無いって分かつてるけど、皆んなが自分のこと見てるような気がして

いつも逃げるように家に帰って、だんだん外に出るのも嫌くなつて。

でも家に居ても、テレビを付ければどうでも良い事で誰かが誰かを非難して

ネットには凄いタイトルの中身のない情報ばかり。

のさでは皆んながひとりを吊し上げて罵倒して、自分より劣つてる人を見て自分の尊厳を保とうとしている人たちがいっぱい。

周りを見ても、仲良く平然と人間関係を過ごしてるようで、本当はお互い探り合い。

なんだろこれ？って。

いっぱいの人とか、通り過ぎる車の音とか、追いかけてくる時間とか、世界が攻撃してくるみたいで。

ごめんなさい意味わかんない事言つて……

自分でもまとまつてなくて……

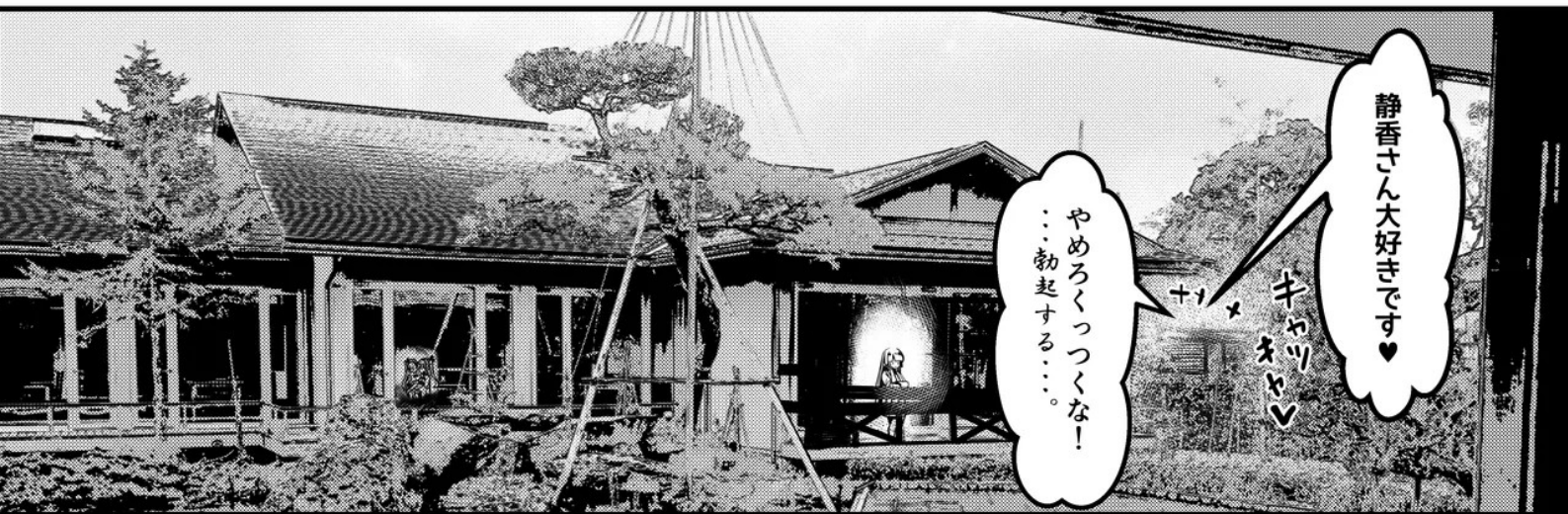
山の外の事はよく分からないし正解も分からない。

いや、人の数だけ正解があるんだと思う。

でも、

私もここも、お前を受け入れるよ。

ゆっくり探せば良い。自分なりの答えを





せかさずとも
分かっておる。

1人入ったのだ
誰かを出す。選定するまで
少し待たぬか。

ああ、今週中には山に上げる。



さて...



まったく、辛抱の足らん
やっだ。



毎度の事ながら、
嫌な契約を交わしたものだな

我が先祖よ...



誰を上げるか...

—続く—

考察及び設定資料 1

■ネットに出回った都市伝説とUMA

みるくが村に訪れるきっかけになった画像。

本文には「某県山中に「この先立ち入りを禁ず」と言う看板取材班が看板を越えようとしたとき森の奥から巨大な頭を持ち、5本の手足を持つ生物が現れた」とある。

恐らくこれは姫巫女が居た本殿に飾ってあったものと似た仮面をかぶった静香ではないかと思われる。一本多いと思われた手足は静香のソレであろう。



それと、私の事は
姫巫女さまと呼べと
言っておろうが。

■村の始まりの物語

かつてこの山に一人の娘が迷い込んだ。

その娘は雌雄の性器を有していた。そのことから周囲に疎まれ、鬼の化身とさげすまれ、世間を追われた。

何日も歩き回り、まさに生も根も尽き果てんばかりであった。

そのとき山の中から輝く少女が現れた、

少女は体に蛇をまとい、妖艶な容姿をしていた。

生と死の狭間で子孫を残そうといきり立った娘のそれを誘い、

自信の中へと招き入れ子種を注がせた。

娘はそのまま眠りにつき、気が付くと少女の姿はなかった。

代わりに二人の赤子がおり、不思議と同じ方角を見つめていた。

娘は赤子を抱きかかえ、導かれるように山を歩いていると、

開けた場所へたどり着いた。

そこには美しい水、肥沃な土地、豊富な野生動物がいた。

娘は神の導きと思い、その地に住まい、子を育てた。

そしてあの時の少女を信仰し蛇神を祭る社を建てた。

それ以来村は外界からの干渉を受けることなく、平穏な暮らしを営んでいる。

本殿の壁の掛物から現代語に変換。

恐らくこの時の娘の子孫が姫巫女の家系として代々村を守っていると思われる。

しかし現姫巫女の言動から、先祖は

何者かと契約を交わしたとしており、

真相はまだ見えないままである。

往々にして神話とは、権力者が自信の

地位を確立するために創作するものと

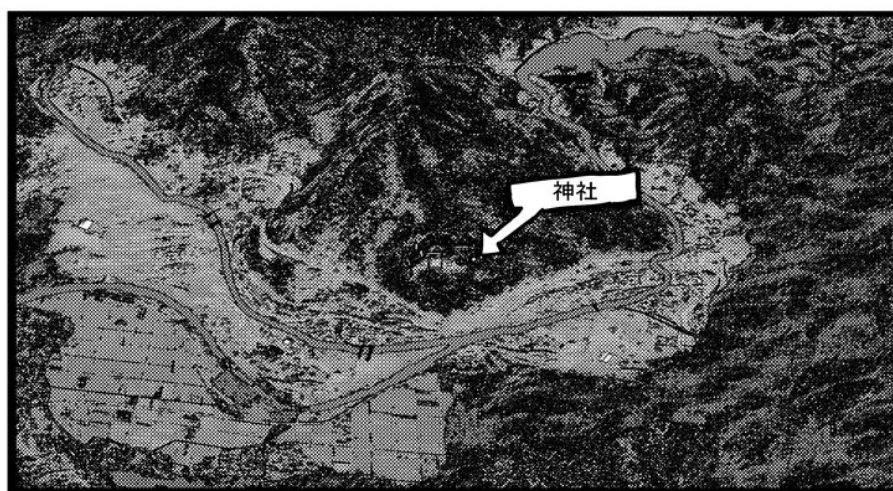
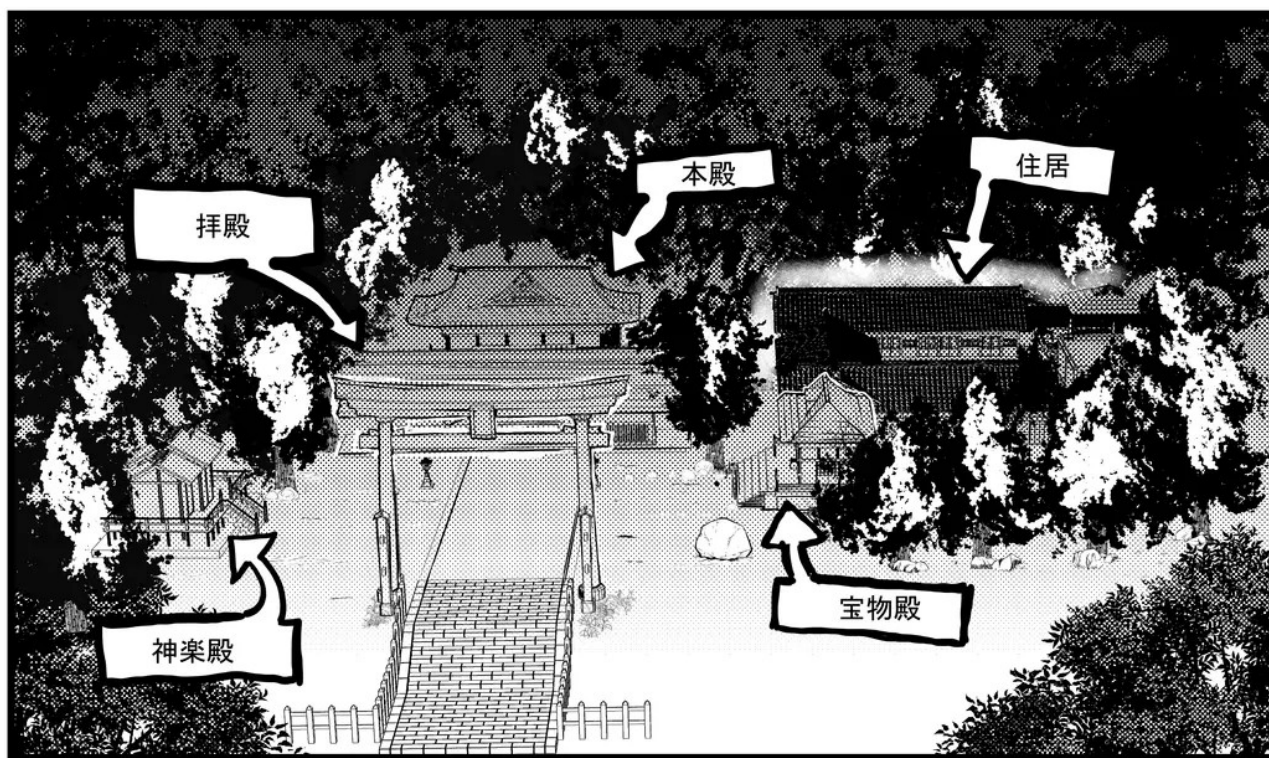
するならば、この物語も誰かが何かの

目的の為に創作したものなのかも

しれない。



■神社と村の全体像



四方を山に囲まれ、外界との接触を断たれた場所。日本のどこか。しかしみるくが近くまで辿りつけた所を見ると徒歩で行けなくもない場所なのか。またはみるくには選ばれた者の資格のようなものがあり、導かれたのか。

物資は基本的には自給自足だが、定期的に姫巫女の使いが外にも調達に行く。住人のほとんどは開拓時代からの子孫だが、中にはみるくの様の外から入って来た者もいるようだ。近親婚による遺伝子異常の観点からそうしているのかは不明だが姫巫女の「一人入ったのだ、一人出す」からもわかるように、住民は姫巫女の家系が管理していると思われる。



村には一通りの施設はそろっているようで、教育施設や病院等、生活には困らないようになっている。

しかし、現代においてこのような集落が一見すると山奥ののどかな集落だが何らかの意図をもって存在することは明確であろう。姫巫女と通じている人物や両性具有者を集めている点など、まだまだ不明な点も多い。引き続き観察が必要。

考察及び設定資料 2

■村の信仰

その土地に古くからある土着の神を祭る。アニミズム的な考えが根底にあるのかは不明だが現在は、山そのものと言うよりはそこに宿る神を崇めている。山神を模した被り物をかぶり、灯笼を持ち練り歩き、奥社で待つ姫巫女の持つ聖杯に精液を注ぐ例大祭が年に一度開かれる。信仰のルーツは前述の通り村の始まりの物語とされているが、姫巫女の家系に代々伝わっている物とされているため、日本に広まっている文献などに記載はない。また、姫巫女は固有の名称であり、人としての名は与えられない。生まれたとき姫巫女と名付けられ、子を生たさいその子に受け継がれる。

■両性具有（ふたなり）

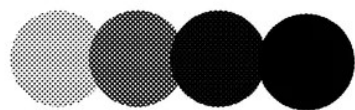
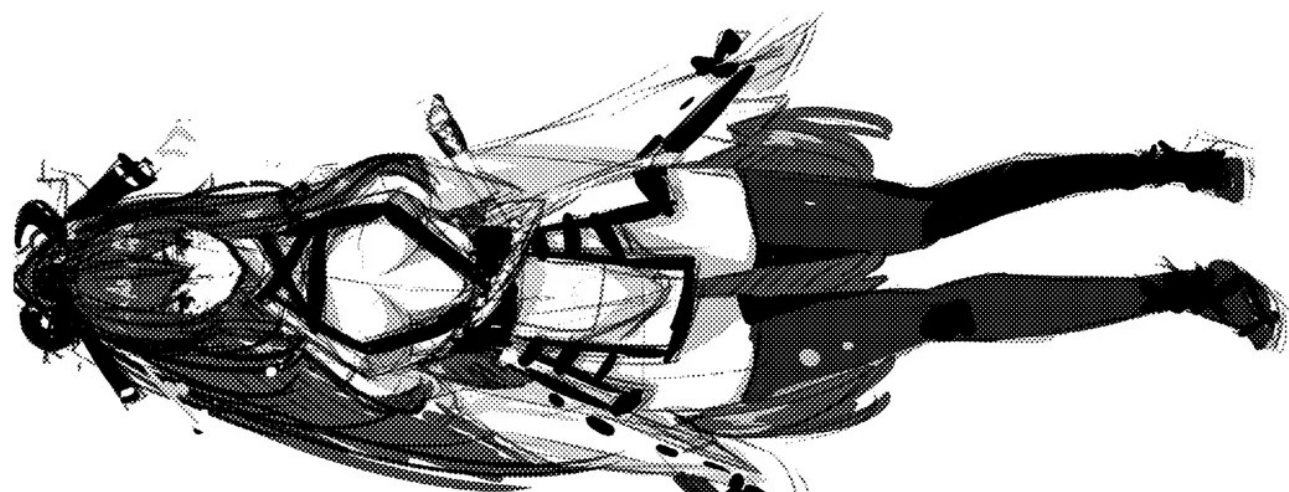
村の住人は伝承の頃からすべて両性具有者とされ、現在でもその状況は守られている。村の周囲に近づきすぎると静香のような守備隊（外でUMAと勘違いされた者）に捕らえられ、姫巫女の元へと運ばれる。そこで選別をされ選ばれざる者は神に吞まれるという。その者がどうなるかは姫巫女のみが知る。また、新たな住人が加わると今まで住んでいたものを代わりに村の外へ出すという仕来りもあり、それを姫巫女は「上らせる」と言っている。

もともとは特異的な存在である両性具有だが、生物全体と通してみると決して珍しいものではない。そもそも人間はなぜ男女と言う二性をもっているのか、子孫を残すと言う点においては両性を有していた方が効率が良い。

この村の人間は、外の世界とは別の進化の形を形成し始めているのかもしれない。



■ 姫巫女と従者の正装



カラー版→



あとがき

みなさまお疲れ様です。
始めましての方も居るかもなので
はじめまして、ゆきとです。

普段は東方イラストを
描いているのですが
今回初めてオリジナルに
挑戦してみようと思い
今日に至りました。

漫画自体がほぼ新しい挑戦
だったのでいろいろと四苦八苦
読みにくい箇所も
多々あったと思いますが
あとがきまで来ていただいて
超絶感謝です。

今の所本シリーズは
全6話構成を
予定しています。

みるくを見習って
頑張って一緒に
成長していきたいと
思っておりますので。
引き続きよろしくお願い致します。

これからもいっぱい描いて、見てくれる
皆様に少しでも癒しを感じていただけるように頑張ります。
2022.8.14 ゆきと

追伸：今回結構説明回になってしまってあんまりエッチシーンを
入れられませんでした(ω\)\みるくの事を気に入ってくれた方が
居ましたら、ぜひぜひ描いてあげてください。いろんなみるくが
見れると嬉しいです。

初版：2022.8.14 コミックマーケット 100

発行：ゆきと mail：prestigeyukito2@hotmail.co.jp

印刷：株式会社ポプルス様



@dr_yukito



